

NO. 509
平成 18 年(2006)
2 / 1 7 (金)



小笠原 OGASAWARA -
村民だより

編集・発行 小笠原村総務課

〒100 - 2101

東京都小笠原村父島字西町

TEL 04998 (2) 3111

FAX 04998 (2) 3222

防災特集号

ホームページアドレス

<http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>

2月24日(金) は、防災訓練の日です。

災害はいつ起こるかわかりません。訓練に参加して避難場所や避難経路など
再確認しましょう。

災害に対して、「日ごろからの備えはどうか」、「いざという時にどうするか」について、ご家庭や職場
などで話し合い、防災意識を高めましょう。

地域での防災対策や災害弱者、独居老人等への支援などにも関心を寄せましょう。

避難の情報が出たら単独で行動することは避け、安全な経路を通過して、地域の人と助け合いながら避難し
ましょう。

< 訓練内容 > 津波の発生を想定しての避難訓練・避難誘導訓練を中心に行います。

訓練想定： 東南海・南海で起こった地震により大規模な津波が発生し、**90分後に小笠原に津波の第一波が来襲する**
という想定で実施します（**避難指示から避難完了までを60分位で想定しています**）。
この想定のもと気象庁が発令する「津波警報」を受け、村では「避難指示」を発令します。

訓練内容： 津波来襲情報の伝達訓練
津波の来襲に伴う、避難所への避難および避難誘導訓練

避難時間の測定：

「避難指示」が発令されてから実際にどれくらいの時間で避難できるか、各避難所において計測しますので、
多くの皆様のご参加をお願いします。また、避難時間をもとに、避難するまで何が出来るか、ご家庭や職場で話し
合いましょう。

村民の皆様への情報の伝達：

右記の「訓練想定内容」の時間に従い、村役場に設置する
「災害対策本部」から防災行政無線を通じて行います。
情報伝達の前には必ず「訓練」という言葉を入れますので、
訓練であることを確認してください。また、「避難指示」の
際は、**サイレンを鳴らしますのでご了承ください**。
なお、宿泊業の方は、訓練が行われる旨を宿泊客の方に周
知していただくようお願いいたします。

津波来襲時の避難先については、以下の場所となります。

父島	西町・東町地区	→	小笠原小中学校(体育館)
	清瀬地区	→	小笠原高等学校(体育館下ピロティ)
	奥村地区	→	旧高校跡地
	扇浦地区	→	扇浦交流センター
母島	元地地区	→	小笠原村母島診療所

訓練想定内容(2月24日(金)実施)

9:00	訓練実施広報(防災無線)
9:25	東南海・南海にて地震発生
9:30	気象観測所から津波情報 役場 「津波警報」発令 災害対策本部設置
9:37	「避難指示」発令(防災無線) 災害対策班行動開始 避難所の開設 各避難所 避難時間の計測
10:40	避難完了目標時間 各避難所にて講評・避難者解散
10:55	津波来襲
11:00	「津波警報」解除 「避難指示」解除 災害対策本部解散

なお、今回の避難訓練にご参加いただいた皆様には、「備蓄用非常食」の
配布をいたします。

問合せ先 総務課総務係 2 - 3 1 1 1
母島支所庶務係 3 - 2 1 1 1

津波浸水予測図について

小笠原村は、東南海・南海地震に係る地震対策の推進に関する特別措置法の規定により、防災対策推進地域に指定されています。

このことにより、東京都では津波浸水予測図を作成しています。安全な避難経路の把握など避難行動の備えにご活用ください。

なお、この予測図はM8クラスの東南海・南海地震が同時に発生し、小笠原に来襲する場合の津波を推定したものです。

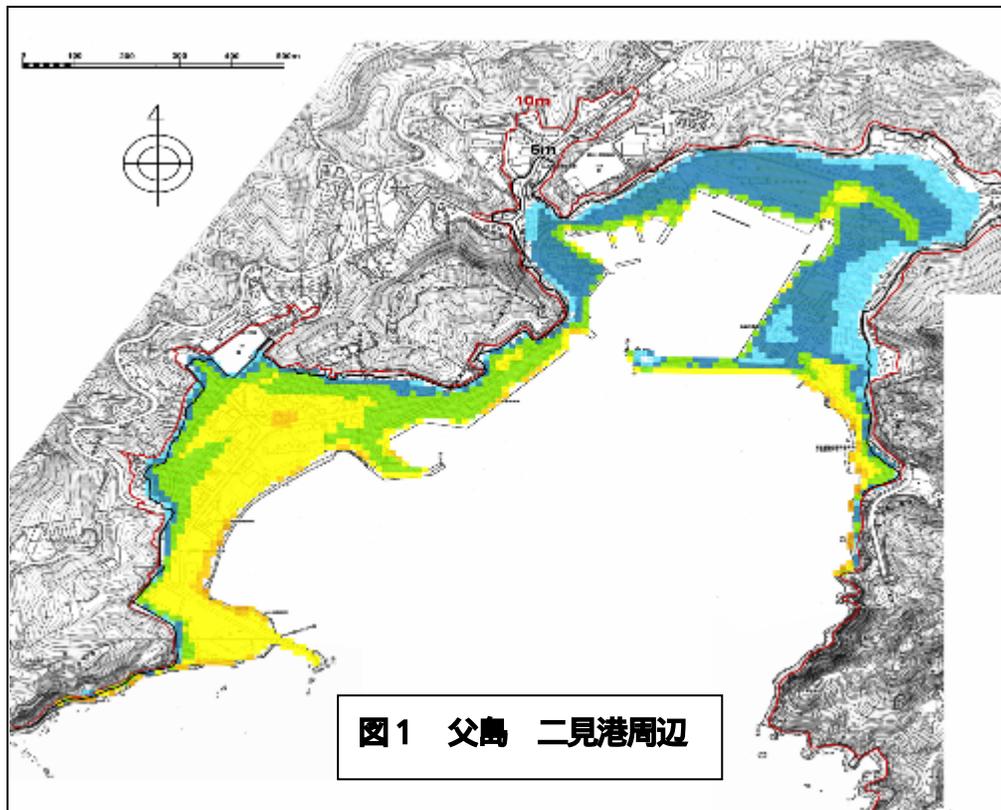


図1 父島 二見港周辺

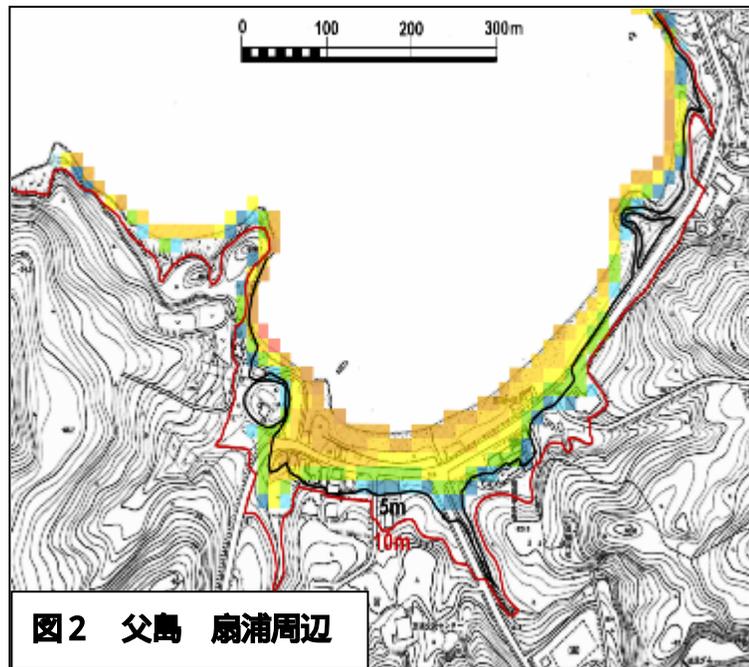


図2 父島 扇浦周辺

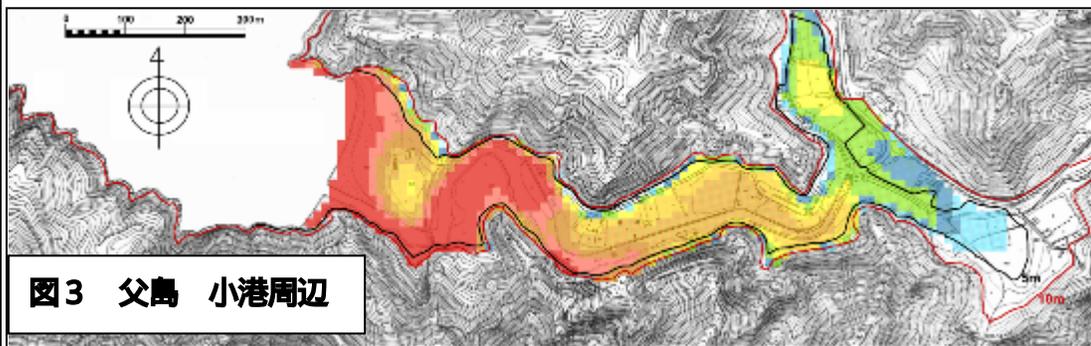


図3 父島 小港周辺

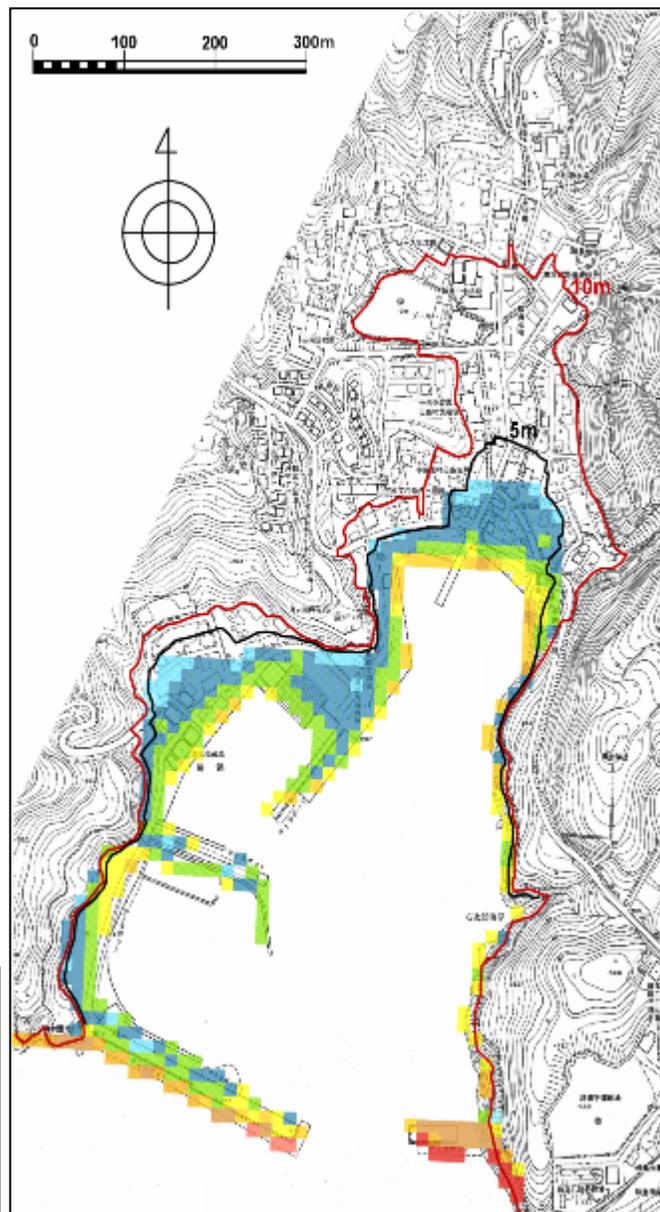
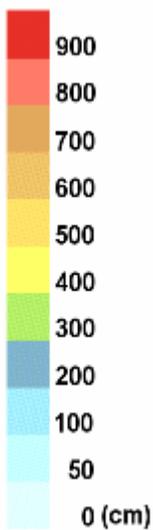


図4 母島 沖港周辺



浸水深
 (「浸水深」とは、それぞれの場所における津波の高さを示しています。)

最大津波：想定 東南海・南海地震

父島 第1波到達時間：およそ92分

図1 二見港周辺 最大水位の到達時間：184分、高さ：7.48m

図2 扇浦周辺 最大水位の到達時間：101分、高さ：6.20m

図3 小港周辺 最大水位の到達時間：220分、高さ：9.93m

母島 第1波到達時間：およそ94分

図4 沖港周辺 最大水位の到達時間：243分、高さ：5.36m

島の地形等から津波の継続時間が長くなり、また第1波よりもその後の津波の方が高くなる恐れがあります。

**津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れよう。
 強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ。
 津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意。**

総務課 総務係 2-3111
 母島支所 庶務係 3-2111